

第 8 回講義の基本問題・応用問題（その 1）

学籍番号								提出日	月	日	8 1
学籍	学部		年	氏名							

問 8 - 1 刑法 175 条の保護法益について、論ぜよ。なぜ、わいせつは法的に否定的に評価されるのか。

問 8 - 2 自殺や犯罪を誘発するような図書について、国がその出版を禁止することは、憲法上許されるか。都道府県知事がそのような図書を「有害図書」に指定し、未成年者への販売を規制する場合は、どうか。

第 8 回講義の基本問題・応用問題（その 2）

学籍番号								提出日	月	日	8
学籍	学部			年	氏名						2

問 8 - 3 「チャタレイ夫人の恋人」事件最高裁判決以後、「悪徳の栄え」事件（最大判昭和 44 年 10 月 15 日刑集 23 卷 10 号 1239 頁）や「四畳半襖の下張」事件（最判昭和 55 年 11 月 28 日刑集 34 卷 6 号 433 頁）などの最高裁判決により、わいせつの概念が徐々に変遷している。それぞれ調べたうえで、最高裁判所のわいせつ概念の理解について、整理せよ。

問 8 - 4 博多駅テレビフィルム提出命令事件最高裁決定以後の報道・取材の自由に関する判例である日本テレビビデオテープ差押事件最高裁決定（最決平成元年 1 月 30 日刑集 43 卷 1 号 19 頁）と TBS ビデオテープ差押事件最高裁決定（最決平成 2 年 7 月 9 日刑集 44 卷 5 号 421 頁）について調べたうえで、それぞれ、事件の概要と裁判所の判断をまとめよ。

第 8 回 講義の基本問題・応用問題（その 3）

学籍番号								提出日	月	日	8
学籍	学部			年	氏名						3

問 8 - 5 報道関係者の取材源の秘匿に関する石井記者事件最高裁判決（最大判昭和 27 年 8 月 6 日刑集 8 卷 6 号 974 頁）と NHK 記者証言拒否事件最高裁決定（最決平成 18 年 10 月 3 日民集 60 卷 8 号 2647 頁）とを比較し、検討せよ。

問 8 - 6 マス・メディアの報道の自由は、一般人の表現の自由とは異なるメディアの特権を意味するのか。「マス・メディアによる報道の自由は、ジャーナリストの表現の自由の総和以上のものではない」とする議論について、論評せよ。

問 8 - 7 報道の自由について、印刷メディアと放送メディアとでは、保障の範囲が異なるといえるか。